2026 年 10 月 26 日
日本銀行釧路支店

道東地域の金融経済概況

【全体感】

道東地域の景気は、持ち直しの動きが鈍化している。

すなわち、公共投資は、緩やかに増加している。設備投資は、弱めの動きとなっている。住宅投資は、弱めの動きとなっている。個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。生産は、業種ごとにばらつきがみられるものの、総じてみると弱含んでいる。労働需給は、引き締まっている。

先行きについては、企業の賃金・価格設定行動や人手不足が管内の経済活動全般に及ぼす影響を注視していく。

【前回からの変化】

項目	前回変化	基調判断	
		前回	今回
全体判断	→	道東地域の景気は、持ち直しの動きが鈍化している。	道東地域の景気は、持ち直しの動きが鈍化している。
公共投資	→	緩やかに増加している。	緩やかに増加している。
設備投資	→	弱めの動きとなっている。	弱めの動きとなっている。
住宅投資	↗	減少している。	弱めの動きとなっている。
個人消費	→	一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。	一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。
生産	→	業種ごとにばらつきがみられるものの、総じてみると弱含んでいる。	業種ごとにばらつきがみられるものの、総じてみると弱含んでいる。
雇用	→	引き締まっている。	引き締まっている。

※ 前回変化「↗」、「↘」は、前回判断に比較して景気の改善度合いまたは悪化度合いが変化したことを示す（例えば、改善度合いの強まりまたは悪化度合いの弱まりは「↗」）。なお、前回に比較し景気の改善・悪化度合いが変化しなかった場合は「→」となる。

１．需要項目別動向

公共投資は、緩やかに増加している。
公共工事請負金額は、前年を上回った。

設備投資は、弱めの動きとなっている。
道東地域の 9 月短観における 2026 年度設備投資計画は、前年を下回っている。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。
新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲いずれも前年を上回った。

個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。
主要小売店売上高は、前年を上回った。乗用車新車登録台数（含む軽）は、普通・小型乗用車は前年を上回ったものの、軽乗用車は前年を下回り、全体では前年を下回った。家電販売は、緩やかに持ち直している。
観光は、持ち直している。

２．生産

生産は、業種ごとにばらつきがみられるものの、総じてみると弱含んでいる。
主要生産品目別にみると、乳製品は、緩やかに持ち直している。水産加工品は、減少している。

３．雇用

労働需給は、引き締まっている。

４．企業倒産

企業倒産は、倒産件数、負債総額ともに前年を上回った。

５．金融情勢

預金残高は、前年を上回った。
貸出残高は、前年を上回った。
貸出約定平均金利は、上昇基調にある。

以　上

（注）道東地域とは、当店の業務区域（釧路、帯広、根室の３市および釧路・十勝総合振興局、根室振興局の所管区域）を指す。